

【一】本文について、設問に答えよ。

かくのみ思ひくんじたるを、心も慰めむと、心苦しがりて、母、物語など求めて見せ給ふに、①げにおのづから慰みゆく。紫のゆかりを見て、続きの見まほしくおぼゆれど、人語らひなども②《X》せず。たれもいまだ都慣れぬほどにて、え見つけず。いみじく心もとなく、ゆかしくおぼゆるままに、この源氏の物語、③一の巻よりしてみな見せ給へと、心の内に祈る。親の太秦に籠り給へるにも、ことごとなく、このことを申して、出でむまにこの物語見果てむと思へど、見えす。④いとくちをしく思ひ嘆かるるに、をばなる人の、田舎より上りたる所にわたいたれば、「いとうつくしう生ひなりにけり。」など、あはれがり、めづらしがりて、帰るに、「何をか奉らむ。⑤まめまめしきものは、まさなかりなむ。ゆかしくし給ふなるものを奉らむ。」とて、源氏の五十余巻、櫃に入りながら、⑥在中将・とほぎみ・せりかは・しらら・あさうづなどいふ物語ども、一袋取り入れて、得て帰る心地のうれしさぞいみじきや。

問一 次の語句の読みを、ひらがな（現代仮名遣い）で答えよ。

①櫃

問二 傍線部①を現代語訳したものととして、最も適切なものは次のうちどれか。

ア 偶然だと思いが心が慰められてゆく。

イ ほんとうに自然と心が慰められてゆく。

ウ 少しずつゆつくりと心が落ち着いてゆく。

エ 信じていなかったが、心が落ち着いてゆく。

問三 傍線部②の部分の現代語訳は「出来ない」である。

(1) 《X》に入るべき副詞をひらがな一字で書け。

(2) 具体的にないが出来ないのか。解答欄に合うように答えよ。

◆若紫巻を見て、続きを(1 五字以内) けれど、(2 十字以内) が出来ないということ。

問四 傍線部③とあるが、源氏物語の第一巻の名称を漢字二字で書け。

問五 傍線部④の解釈として、最も適切なものは次のうちどれか。

ア この上なく後悔したことを嘆いている。

イ この上なく残念だと嘆きに嘆いている。

ウ 非常に後悔の念にあふれ嘆いている。

エ 非常に残念で自然と思ひ嘆いている

問六 傍線部⑤について、

(1) 現代語訳せよ。

(2) 「なむ」を品詞分解したものととして、最も適切なものは次のうちどれか。

ア 強意の係助詞

イ 願望の終助詞

ウ 強意の助動詞＋推量の助動詞

エ 動詞の活用語尾＋推量の助動詞